

NIPPON 女性からだ会議®2018 開催報告



平成 30 年 3 月 3 日、女性の健康教育と予防医療の推進を行う、一般社団法人シンクパール（東京都千代田区：代表理事 難波美智代）は、3 月 1 日から 8 日までの「女性の健康週間」に合わせ、渋谷キャストホール（東京・渋谷区）にて、女性が活躍する社会の健康教育、課題の共有、そして健康から女性のエンパワーメントに積極的に取り組む企業等の情報共有の場として「NIPPON 女性からだ会議®2018」シンポジウムを開催。10～20 代女性を中心に約 90 万人のファンを持ち、次世代のオピニオンリーダーとして称されるモテクリエイターのゆうこす（菅本裕子）氏らが登壇、会場には約 300 名が来場しました。

テーマは「からだの悩み、生理の悩みからフリーになろう！」。3 つのトークセッションから様々な立場の登壇者が、からだの悩みやキャリア、ライフイベントについて語り、ヘルスプロモーションを行いました。第一部セッションに登壇した産婦人科医の遠藤周一郎氏は、子宮・卵巣、生理のしくみなどを紹介。菅本氏が行ったライブ中継には、最高時 1.7 万人が参加し視聴者からの疑問なども投げかけました。

経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課係長の紺野春菜氏からは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践する「健康経営」を推進し、現在、女性特有の健康問題対策に企業から高い関心が寄せられている事例を紹介。女性が働きやすい社会環境の整備を進めることが、生産性向上や企業業績向上に結びつくとし、今後、企業が経営戦略として、女性特有の健康課題も認識したうえで従業員の健康に取り組んでいくよう、経産省としても進めていきたい旨説明しました。



続いて、株式会社エムティーアイが運営する女性のための健康情報サービス『ルナルナ』事業部長の日根麻綾氏からは、3月1日に発表したシンクパールとの共同調査「年代別にみるカラダへの関心」に関する結果をクイズ形式で披露しました。調査には10代～50代以上の女性10,908名（内10～20代4,502名）が参加。からだや性についての悩みを話せることの大切さ、自分の経験だけで判断するのではなく信頼できるかかりつけ医作ることや様々なからだの変化があることを知ることの重要性を認識する結果となり、約半数が「子宮頸がん検診」をきっかけに初めて産婦人科を訪れていることも紹介しました。

最後に菅本氏は、「いままで生理がこない時があってもなんとも思っていなかった。自分がこれからもやりたいことを実現したり、子どもを産めるからだのためには、生理がとても大切なのだと思った。ちょっとした不調や悩みでも病院に相談していいと分かったので、女の子たちが実際に病院に行くハードルを下げるための活動や情報発信をしていきたい。」と感想を述べました。



第二部セッションでは、「ナース×アイドルカフェ★Live」として、現役の看護師やアイドルが、仕事と健康の両立等を話し合いました。女の子の憧れの職業としても多く紹介される一方でアイドルや看護師などは、勤務時間が不規則で健康を維持することが難しいと言われている。そのような現状の中で日々どういった工夫をしているか、等身大のアドバイスや信頼できる専門家を探すポイント等が紹介されました。

第三部では、一般社団法人シンクパールでインターン生として活動をする約50名の学生の中から、昨年「全国の大学に検診車を走らせよう」クラウドファンディング企画内にて、大学内での授業と子宮頸がん検診車見学会を実施した、創価大学経済学部4年生の2名が登壇し、日本医師会総合政策研究機構主任研究員和田勝行氏（前・文部科学省健康教育・食育課課長）に、日本の性教育が進んでいないと言われる現状等について質問をしました。これに対し、和田氏は「学習指導要領を定めて教科書の内容を充実させるなど、文科省による対策は手を尽くしてきた。現場の教師には様々なプレッシャーがあるためスムーズに進みづらいことも多々ある。社会全体の意識の底上げがとても大切だと考えている。」などと述べました。



その後は、東京・六本木ミッドタウン「HAL YAMASHITA 東京」にて「NIPPON 女性からだ会議
 @2018」女性からだ会議大賞授賞式を開催しました。大賞には「まるのうち保健室」を監修する細川モモ
 氏。特別賞は「3年B組金八先生第1シリーズ」に決定し、代表としてドラマの出演者で現在は腸トレマ
 イスターとしても活動するつちやかおりさんが授賞式に出席。優秀賞は「Wの悲喜劇～日本一過激なオン
 ナのニュース～（AbemaTV）」「I LADY.（国際協力 NGO ジョイセフ）」「Ladies be open（ハフポス
 ト）」が選ばれ、プレゼンターはJ1 湘南ベルマーレの岡本拓也選手が登場。先の平昌
 （ピョンチャン）オリンピック開会式・閉会式にて演奏を行ったバイオリニストの白須今氏や渡邊達徳氏
 による演奏も披露されました。



一般社団法人シンクパールは、今後も大学・企業向け女性の健康教育と予防医療の推進を行うことで、誰もが健やかでいきいきと活躍できる社会づくりを目指してまいります。なお、NIPPON 女性からだ会議®2019の開催は、2019年3月3日(土)を予定しています。

【名称】 NIPPON 女性からだ会議®2018

【主催】 一般社団法人シンクパール

【協力】 プロジェクト nap (ホリエモン万博 I DOLL PARTY)

【メディアパートナー】 ルナルナ (株式会社エムティーアイ)

【協賛】 株式会社ミュゼプラチナム、オムロン ヘルスケア株式会社、バイエル薬品株式会社、MSD 株式会社、株式会社あすか製薬メディカル、ハリウッド化粧品、小林製薬株式会社、住商モンブラン株式会社

【後援】 文部科学省、厚生労働省、経済産業省、東京都、公益社団法人日本医師会、公益社団法人東京都医師会、公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本婦人科腫瘍学会、公益社団法人日本臨床細胞学会、認定 NPO 法人日本医療政策機構、ここにこ一般財団法人、NPO 法人女性医療ネットワーク、日本女性ウェルビーイング学会 (順不同)

【プログラム】

<メイン会場：渋谷キャストホール (入場無料) >

● 11:00~12:30 スペシャルトークショー

からだの悩み、生理の悩みからフリーになろう！

モテクリエイター 菅本裕子 (ゆうこす)

産婦人科医 きゅー先生 (遠藤周一郎)

ルナルナ事業部長 日根麻綾

経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 紺野春菜

一般社団法人シンクパール 代表理事 難波美智代

シンクパール・ソーシャル・カレッジ (TSC) 牧村一穂 (慶應義塾大学看護医療学部 1 年)

● 13:00~13:50

ナース×アイドルカフェ★Live

先輩から学ぶ！キャリアとからだのこと

伊藤明香 (看護師・看護師一ず)

樽見春香 (看護師・看護師一ず)

西山妙子 (看護師・ケアマネジャー・オンラインサロン「ナースライフバランス」主宰)

夏目亜季 (アイドル・講演家)

堀内華央理 (バクステ外神田一丁目)

白石優希 (バクステ外神田一丁目)

久岡めるも (バクステ外神田一丁目)

● 14:00~15:00

キャンパス女性からだ会議発表会&トークセッション

大学生インターン生による子宮頸がん検診啓発活動のご報告

日本医師会総合政策研究機構主任研究員 和田勝行 (前・文部科学省健康教育・食育課 課長)

一般社団法人シンクパール

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-8-1

電話：03-6369-8154 FAX：03-4333-0437 E-mail：info@thinkpearl.jp

【媒体掲載】

Japan In-depth (2018/3/4)
http://japan-indepth.jp/?p=38766

からだの悩み、生理の悩みからフリーになるために NIPPON女性からだ会議2018

3/4(日) 16:00配信

【まとめ】

- ・生理など女性のからだの悩みはそのままにせず産婦人科を受診すべき。
- ・健康維持のためには、健康診断を受け、かかりつけ医を持つことが大切。
- ・性教育を推進するためには、社会全体の意識の底上げが重要。

【注：この記事には複数の写真が含まれています。サイトによっては写真説明と出典のみ記されていることがあります。その場合は、Japan In-depthのサイトの記事をお読みください。】

ひな祭り当日、東京都渋谷で開催されたとあるイベント。テーマは「からだの悩み、生理の悩みからフリーになろう!」。主催した一般社団法人シンクパールは、健康教育と子宮頸がん検診啓発など、予防医療の推進から女性の活躍推進と次世代支援を行

スポーツ報知 (2018/3/5)

【湘南】岡本が「NIPPON女性からだ会議」にプレゼンターで参加

3/5(月) 9:56配信

J1湘南のDF岡本拓也(26)が3日、東京・六本木で開催された「NIPPON女性からだ会議2018」にプレゼンターとして参加した。

同会議は健康教育と子宮頸がん啓発など予防医療の推進から、女性の活躍推進と次世代支援を行う一般社団法人シンクパールが主催。今年は「女性の健康週間」に合わせ、3月3日のひなまつり開催となり約300人が参加した。

今年、入籍した岡本は、女性のいのち、未来のいのちを大切にしたい、という思いを持ち、参加。「今日、参加させて頂き、男性でもがん検診が出来ること、がん検診を受けることによって早期発見につながり、失われなくても良いのちがあることを知りました」と話した。

今後、女性のがん検診などに関わる社会貢献活動をしていきたい意向を持っている。2日は湘南ベルマーレの選手として敵地の川崎フロンターレ戦に出場。試合翌日に今度はピッチ外での活躍となった。

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180305-00000066-sph-socc>

I LADY.(2018/3/6)
http://ilady.world/repro/

WHAT IS SRHR?

I LADYが、NIPPON女性からだ会議*2018 優秀賞を受賞

表彰状

「NIPPON女性からだ会議2018」の優秀賞を受賞したI LADYの表彰状。表彰状には、I LADYのロゴと、その活動が女性の健康と次世代支援に貢献していることが記されている。

Abema TIMES (2018/3/10)
<https://abematimes.com/posts/3803314>

AbemaTIMES

女性からだ会議大賞、AbemaTV「Wの悲喜劇」が優秀賞受賞

2018.03.10 11:00



東京・六本木で開催された「NIPPON女性からだ会議2018」の大賞授賞式にてAbemaTV (アベマTV) で毎週土曜23時から放送中の「Wの悲喜劇〜日本一過激なオンナのニュース〜」が優秀賞を受賞した。

